

科 目 臨床検査総論 I

(General Clinical Examination I)

担当教員 渭原 博、横田 浩充

【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

理学を学問的基礎とする臨床検査技師を養成することを目標とします。生体の諸機能の偏りを病態として捉え、最先端の科学技術を活用して解明する臨床検査の技術について採血、尿、便、その他の体液の分析から学び、また実際に臨床検査とはどのような仕事であるかを知り、大学で学習した知識をどのようにして臨床検査に応用するか考えられる能力を養うとともに、医学的知識の基礎を学習します。

<教育目標>

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ

<具体的な項目>

- 専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)
 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)

【2】 授業計画

| No. | 内 容 |
|-----|---|
| 1 | 臨床検査の意義、検査管理の概念、検査部門の組織と業務等について学習する (担当：渭原) |
| 2 | 検査部門の管理と安全、医事法規概論、臨床検査技師に関する法律について学習する (担当：渭原) |
| 3 | 採血法および血液試料の取り扱いについて学習する (担当：渭原) |
| 4 | 採尿法、尿の一般的性状、尿比重、尿浸透圧、尿pHの測定意義、測定法について学習する (担当：渭原) |
| 5 | 尿蛋白、尿糖、尿ケトン体の測定意義、測定法について学習する (担当：渭原) |
| 6 | 尿ビリリビン、尿ウロビリニン体の測定意義、測定法、黄疸について学習する (担当：渭原) |
| 7 | 尿ポルフィリン、血管内溶血、ミオグロビン尿の測定意義、測定法について学習する (担当：渭原) |
| 8 | 尿亜硝酸、尿白血球エステラーゼ、絨毛性ゴナドトロピンの測定意義、測定法について学習する (担当：渭原) |
| 9 | 尿沈渣検査、保存による尿化学成分、尿有形成分の変化について学習する (担当：渭原) |
| 10 | 尿を試料とする先天性代謝異常症について学習する (担当：渭原) |
| 11 | 糞便中の血液検査 (潜血検査)、糞便中脂質、胃液検査、十二指腸液 (胆汁・膵液) 検査の意義、検査法について学習する (担当：渭原) |
| 12 | 喀痰検査、精液検査、鼻汁検査、関節液検査、胸水・腹水検査、髄液検査の意義、検査法について学習する (担当：渭原) |
| 13 | 検査精度 (精度管理法、測定誤差、標準化) について学習する (担当：渭原) |
| 14 | 検査情報 (基準範囲、生理的変動、ROC曲線、カットオフ値)、検査情報の活用 (判断値、パニック値) について学習する (担当：渭原) |
| 15 | 学習到達度の確認 (担当：横田) |

【3】 到達目標

1. 検査項目の生理的意義を理解し説明できる。
2. 臨床的意義を理解し説明できる。
3. 分析法 (反応原理と実施法) を理解し説明できる。
4. 基準範囲を理解し説明できる。
5. 検査成績と病態との関係を説明できる。

【4】 授業概要

授業計画に沿って到達目標ごとに講義する。国家試験出題基準に挙げられている項目のすべてについて学ぶ。

【5】 準備学習 (予習・復習) および必要時間

予習：教科書に、目を通しておくこと (授業1回ごとに90分の予習が必要)

復習：国試対策ノート (各自で作成) に学習内容を整理する (授業1回ごとに90分の復習が必要)

【6】 教科書・参考書・参考資料

〔教科書〕 臨床検査総論：伊藤機一、松尾収二、編、医学書院 (ISBN 978-4-260-01665-0)

〔参考書〕 検査機器総論・検査管理総論 (標準臨床検査学)：横田浩充、大久保滋夫、編、医学書院 (ISBN 978-4-260-01636-0)

【7】 評価方法およびフィードバック

定期試験により評価する

非常勤講師のため、定期試験実施後、定期試験範囲に関する解答に導くための資料を配布する

【8】 オフィスアワー

非常勤教員：授業の前後で対応する

横田：月、火、木の15時以降

【9】 関連科目

〔予め学んでおくとい科目〕

組織学

〔この科目に続く内容の科目〕

臨床生化学Ⅰ 臨床生化学Ⅱ 臨床生理学

【10】 その他

臨検国試受験資格取得希望者は必修